

2019年度 和歌山市立東中学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 加藤 正彦

作成日 2019年 5月 8日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 思いやりのある子供に育てほしい
- たくましい子供に育てほしい

【学校教育目標】

自ら考え思いやりのある個性豊かな
たくましい生徒の育成

【めざす生徒像】

- ・向学心のある生徒
- ・個性豊かな生徒
- ・たくましい生徒
- ・思いやりのある生徒

前年度の学校評価

- 授業改善が進んでいる
- 学校の様子が保護者・地域等によくわかるようになってきた
- 地域との連携について弱さがある

生徒の実態

- あいさつができる
- 真面目な生徒が多い
- 自分で考えて行動できる生徒が少ない
- 自尊感情が高くない

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎主体的に学ぶ力の育成
- 家庭学習の定着

具体的な取組

- 学びのルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図る
- 学びの共同体による授業改善を推進する
- 家庭学習の習慣を身につけさせるため、宿題の取り組みを進める
- 特別支援教育の重要性を認識し、特別支援教育の目線に立った教育を行う
- 定期的な放課後補習、長期休業中の特別教室を実施する

指標

- ・県学習到達度調査で正答数が県平均を上回る
- ・授業が楽しくわかりやすい(生徒10ポイントアップ)

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施

- 道徳科についての研修を行い、より充実した授業を行う
- いじめアンケートや教育相談を年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について特設授業も含め学ぶ機会をもつ
- 人権・同和教育に組織的計画的に取り組む

- ・みんな、気持ちの良い挨拶をしている(生徒10ポイントアップ)
- ・教育相談の毎学期実施
- ・いじめの解消率100%

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

- 体力測定の結果を踏まえ体力の向上を図る
- 「早寝、早起き、朝ご飯」を推奨する
- 昼食指導や保健だよりを通して食育に取り組む
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- ・規則正しい生活をし、遅刻ゼロを目指す
- ・全国体力・運動能力調査で全国平均を上回る

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携
- ◎小学校等との連携協力
- 外部資源の活用

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報発信に努める
- 授業や行事等を積極的に公開する
- 地域の各種団体と連携を図り子供に関わる情報交換を行う
- 校区内の学校との連携を推進・充実する
- ゲストティーチャー、部活動指導員、学生ボランティア等の活用を図る

- ・子供の活動がよく伝わった(保護者10ポイントアップ)
- ・授業参観の実施回数3回以上

◎：特に重点的に取り組むこと